

第17回

フィリピン インファンタ教区 訪問記



聖アンナとヨアキム教会にて

主催：

カトリック広島教区 三姉妹教区委員会



Catholic Diocese of Hiroshima
カトリック広島司教区

久しぶりの体験学習

2024年8月17日～23日 9名の若者、3人の神父、3人の女子リーダーと共に、久しぶりにインファンタを訪問することが出来ました。今回のホームステイ地は、インファンタから車で30分離れた少し田舎のジェネラル・ナカルでした。今回は、全員別々の家でのホームステイでした。夕食から朝まではホームステイ先で、昼は皆で行動しました。

今回も皆いいメンバーに恵まれ、皆で助け合いながら、素晴らしい旅ができました。インファンタ教区のコルテス司教さんとも会い、一緒に日曜日のカテドラルミサを捧げました。フィリピンで今、英語の勉強をしている三宅神父さんもマニラから合流しずっと一緒でした。カルメル会のシスターとも一緒にミサが出来ました。海でインファンタの高校生と遊び、マングローブの海もバンカーボートで廻る事ができました。2つのカルメルスクールを訪問し、素晴らしい歓迎を受け、幼少中高のクラスを回って見学も出来ました。

最後の日の午後、ジェネラル・ナカルの聖アンナとヨアキム教会に集まり、日本から持って来た材料を使って、沢山の日本食を作ってホストファミリーを招待し、皆で食べ、家族ごとに滞在の感想や感謝を述べた時間もいいものでした。あっと言う間の素晴らしい一週間でした。

熾町教会主任司祭
荻 喜代治



マニラ大司教区 総局前にて 4人の神父

↓イエス様と15人の弟子たちの晚餐





St.Mark 司教座聖堂



←バンカーボート

↓わたしたちの友
ジプニー



♪バンブーダンスに挑戦♪

今回、7年ぶりにインファンタ教区の訪問に参加させていただきました。前回の参加はまだ福岡の神学校にいるときでした。パスポートを取得し直したり、練成会終わりで出発の準備をしたりと、準備の段階からバタバタとしていた事が思い出されます。今回は、英語の勉強のためにすでにフィリピンに滞在していたので、日本ではなくフィリピンのニノイ・アキノ国際空港で他のメンバーと合流し、インファンタへの旅が始まりました。

ホームステイ先は前回と同じ方の家でお世話になりました。以前と同じように食事や洗濯、集合場所への送迎などしていただき、とても感謝しています。体調が悪くなりそうな日もありましたが、ゆっくり休むことができ、毎日楽しく過ごすことができました。また、インファンタの方々がずっと旅のサポートをしてくださり快適に過ごすことができました。

7年前の旅の終わりに、次のチャンスがあればもっとコミュニケーションが取れるように言語の勉強をしたいと思っていました。しかし、今の研修に出るまで勉強をしないまま過ごしていました。1年と少しの間フィリピンで生活し、以前よりはコミュニケーションが取れましたが、勉強したいと思ったときから始めていたらもっと語り合えたのかなと感じています。今の学ぶ姿勢を途切れさせずに、日本語以外でのコミュニケーションが取れるようにしていきたいと思います。

今回のインファンタ訪問でも様々な体験をすることができました。無事に旅を終えた事を神様に感謝しながら、この経験をこれからの歩みへ活かしていきたいと思います。

フィリピンの人々が とても好きです

幟町教会
和田 一吹

インファンタ教区訪問に参加するのはこれで二度目です。最初に行ったのは中学3年生の時で、その時は別の文化を知り、新しい場所を訪れるのがとても楽しかったです。それ以来、また行きたいと思っていましたが、パンデミックのために何年も行けませんでした。今年、ついに5年ぶりにフィリピンに行くことができました。フィリピンの人々がとても好きです。皆さん親切で、とてもフレンドリーで温かいです。言葉が通じなくても、知らない人でも温かく迎えてくれて、コミュニケーションを取ろうとしてくれます。その点が本当に素晴らしいと思います。

今回滞在し、お世話になった家族も素晴らしい人たちでした。いつも何か食べ物を用意してくれて、私のことを気遣ってくれました。言葉が通じなくても、お互いに理解しようとする姿勢がありがたく、とても良い経験でした。5日間一緒に過ごしたのですが、短い時間にもかかわらず、まるで家族のように接してくれました。別れる時はとても寂しかったです。フィリピン人と日本人の友達もたくさんできて、素敵な思い出がたくさんできました。是非またいつか、会いに行けたらいいなと思います。

旅行中には、たくさんの場所を訪れ、美しい風景を見ました。また、フィリピンの学校を訪問し、とても親切に迎えてもらいました。学生たちとたくさん写真を撮り、バレーボールをしたり、会話を楽しみました。たくさんの方がいたので、全員と話すことはできなかったのが残念ですが、彼らの文化や食べ物を知ることができ、とても素晴らしい経験になりました。ありがとうございました。

出会った皆様が健康で幸せに過ごされる事を祈っております。



また会いましょう！



コルテス司教様と



インファンタ司教館で青年たちとダンス



スカラプリニセンターのチェスボード！

もっと仲良くなりたい！
タガログ語勉強するよ！

4

ノートルダム清心高校
清水 とう子



マウントカルメル高校インファンタ校



Mabuhay !

先日、フィリピンのインファンタ教区に訪問しました。インファンタは首都マニラから車で4時間ほど進んだ山と川に囲まれた田舎町です。

インファンタで印象に残ったことを順に説明します。まず、初日に私たちはセントマーク教会でミサに与りました。私はカトリックの学校に通っているのですが、ここフィリピンでのミサは日本の学校のミサとは大きく異なっていました。フィリピンで行ったミサでは歌を歌うことがとても多く、本当に感動しました。

また、私たちはフィリピンの大自然にも触れることができました。私たちはビーチやマングローブのある汽水域に行きました。マングローブは日本では見ることはできない植物なので見ることができて本当に良かったです。

最後にインファンタの人々の優しさについて触れようと思います。インファンタの方々は本当に優しく、フレンドリーで、親切でまた会いたいと思えるような本当に素敵な人たちでした。現地での友達ができただけでも本当に嬉しかったです。初めて会った時も元から友人だったかのように接してくれて本当に居心地が良く、本当に楽しい日々でした。英語で話さなければいけないという言語の壁もありましたが、そんなことを感じさせないような本当に素晴らしい一週間でした。そして現地の人とさらに仲良くなりたいと思い、タガログ語を習得するために勉強を始めるほどになりました。

もちろん日本と比べると生活面では不便なことも多かったですが、また行きたい、そして住みたいと思うようになった旅でした。彼らには本当に感謝しかありません。またインファンタに同行してくださった方々、企画してくださった方々、本当にありがとうございました。

5 また必ず会いに行く！ たくさん大切な人たちへ

ノートルダム清心高校
小田 詩織

先日、フィリピンのインファンタを訪れる機会がありました。この小さな町は首都マニラから車で数時間の場所にあり、自然豊かな景観と穏やかな雰囲気が魅力です。滞在中、最も印象に残ったのは現地のフィリピン人たちのオープンで暖かい性格でした。初めて会ったにも関わらず、長い間知り合っていた友人のように迎え入れてくれる彼らのホスピタリティに衝撃を受け、インファンタの人々の笑顔や優しさに包まれて私は心から居心地の良さを感じました。

また、この旅で共に過ごした仲間たちとの出会いは、私にとってかけがえのないものとなりました。フィリピンの美しい自然と共に、彼らとの時間は本当に楽しく、間違いなく人生で最も充実した1週間でした。

フィリピンでは言葉の壁に苦労しながらも自分の言葉で気持ちを伝え、海外の友達を作ることが出来たことは私にとって大きな自信となりました。ホストファミリーや友達との別れは非常に辛かったです、「また必ず会いに行く」という決意が、私を前向きにさせてくれました。この地で出会った人々は皆、再び会いたいと思える大切な存在です。

また、引率して下さった荻神父、三宅神父、野中神父、いずみさん、香苗さんには心から感謝しています。彼らのサポートがなければ、こんなに素晴らしい経験をすることはできませんでした。これは私にとって初めての、そして生涯忘れられない体験となりました。

フィリピンのインファンタは心温まる人々との出会いと貴重な思い出を残してくれる場所でした。次の訪問が待ち遠しいです。



移動は トライシクル



相手のことを知ること！
人の気持ちを考えること！

6

萩光塩学院高等学校
石井 咲也子



私の来る前のフィリピンの印象は治安が悪いでした。貧富の差が激しく、道を歩くのも物が取られないように注意しなければならない。そんな1週間を過ごすだろうと思っていました。ですが、実際に行ってみると私がいったインファンタはそんなことなく、すべての人が私に優しく接してくださいました。



フィリピンにはパンデサルという有名なパンがあります。私の家の近くにそれを作っているお店がありました。私を迎えてくださった家族の方々は普段朝にお米しか食べないそうです。ですが私のために毎朝そのパンを買って用意してくださいました。焼きたてでとても美味しいパンデサルからはパンだけでなくホストファミリーの心の温かさも感じることができました。



学校訪問では、生徒の方と一緒にバレーボールをして楽しみました。バレーボールはとても難しく私は何度もミスをしてしまいました。日本では誰かがミスをするとその場が静まりかえってしまうことが多くあります。ですがフィリピンの皆さんは、私がミスをするたびに大丈夫大丈夫と笑顔で声をかけてくださり、点を決めると私の何倍も喜んでくださいました。フィリピンの皆さんのおかげで私は最後までバレーボールを楽しむことができました。



この短い期間で私はフィリピンの皆さんのたくさんの優しさに触れ、たくさんのことを学ぶことができました。特に私が思ったことは、人の気持ちを考えて行動することは国際問わず大切だということ。そして、勝手に決めつけずしっかり相手のことを知ることその二つが何よりも大切だということです。これから私はできないことがある人や、たくさんのよくない噂が広まっている人と出会っていくと思います。ですがそのような時こそ相手の気持ちを考え、その人のことを優しくサポートしたり、関わる前から決めつけるのではなくまずはしっかり相手のことを知ろうとコミュニケーションをとっていきたいとおもいます。

7 たくさんの新しい体験！ みんなで一緒に

私は今回フィリピンを訪れてたくさんの新しい体験をすることができました。フィリピンに行く前日の夜は、ちゃんとフィリピンの人と話せるだろうか、途中で帰りたくなったりしないだろうかと不安でいっぱい、なかなか眠れませんでした。しかし、到着してみるとフィリピンの人たち全員がとてもフレンドリーで暖かく、毎日がとても楽しかったです。

たくさんある思い出の中で私が特に印象に残っているのは、ホストファミリーの方と過ごした時間です。私は、父、母、娘の3人家族が住んでいる家にホームステイしました。3人ともとても優しく、人見知りな上に英語が苦手な私を暖かく歓迎してくれました。私は、モーターサイクルに乗っていろいろな場所を一緒に訪れたのがとても楽しかったです。ホストシスターの方と彼女の従姉妹、私の3人で海に行ったり、お店でイーサオという鶏の腸の焼き鳥を食べたりしました。初めて食べた鶏の腸は想像と違って弾力がありとてもおいしかったです。

また、2つの高校を訪れたことも印象に残っています。一緒にバレーボールをしたり、フィリピンの伝統的なダンスであるバンブーダンスを体験してみたりと同世代の人とたくさん触れ合えてとても嬉しかったです。

このフィリピン訪問を通して、人を思いやる大切さや誰かを仲間外れにせずみんなで一緒に生きていくことの大切さなどたくさん学ぶことができました。この旅で学んだことをきちんと心に留め、私もフィリピンの人たちのような暖かくて、明るい素敵な人になれるよう努力していきたいです。

萩光塩学院高等学校
浅井 咲智



ホストファミリーと行った
夜の海



モーターサイクルに乗って
食べに行ったイーサオ



水上カフェでハロハロ！

涙の
お別れ…



Sulok beach

私が8月16日から24日までのインファンタ訪問を通して学んだことは主に2つあります。1つ目はフィリピンの人達のこころのあたたかさです。

フィリピンの人達は子供も大人もみんなフレンドリーで日本人である私たちにもとても優しく接してくれました。特に、ホストファミリーは英語が拙いところがあっても、単語単語で聞きとろうと努力してくれたり、ジェスチャーを頻繁に用いて、少しでも相手と楽しくコミュニケーションをとろうとしてくれました。日本は一般的に優しい人達がすむ国と言われていますが、今回のことを通して国によって優しさの種類が違うだけで、どの国の方も優しいこころの持ち主なんだなと思いました。

2つ目はフィリピンの方々の自然に対する考え方です。フィリピンの人は資源や食べ物を無駄にすることは絶対しないですし、常日頃から自然とふれあいながら育つことで自然への考え方が私たちとは大いに違ったなと感じました。

短い間でしたがフィリピンに行けて本当にいい経験ができたと思います。今後もまた萩神父様や今回いっしょにいったメンバーでまたフィリピンにいきたいです。

たくさんの思いやりと 愛をもらいました！

萩光塩学院高等学校
仲里 きらり

私は今回のインファンタ教区訪問が初の海外で、初日マニラに着いた時は交通渋滞に驚き治安や言語、色々な面ですごく不安でした。ですがジェネラルナカルに着いた時たくさんのホストファミリーに暖かい笑顔で出迎えられその不安は一瞬で無くなりました。

ホームステイ先ではお風呂にシャワーがなくバケツに冷水をためて入ること、エアコンやWi-Fiが無いことにびっくりしました。日本では当たり前だと思っていたことが当たり前じゃないんだと実感しました。

しかし数日間生活をする中でこのような生活にもどんどん慣れていきました。ホストファミリーとは言語の壁があり深いところまで話すことは難しかったですがたくさんコミュニケーションを取ることを心がけ1週間弱という短い期間の中で仲良くなり、絆が深まりました。フィリピン料理をたくさん振舞ってくれたり、トライシクルに乗せて屋台に連れて行ってくれたり、ホストシスターの誕生日を一緒にお祝いしたりとたくさんの思い出が出来ました。今では第二の家族のような存在でホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

そして5日間の中ではさまざまな教会に訪問し、ミサに出席しましたが、タガログ語で行うミサは初めてでしたのですごく新鮮でした。また幼児洗礼の光景も初めて見ることができ貴重な経験となりました。

海水浴や学校訪問では自分と同世代の人達とたくさん交流しました。言葉が上手く通じなくてもジェスチャーなどで言いたいことを伝え合い楽しくアクティビティが出来ました。そこではフィリピンの方々は共通して場を盛り上げることが上手だったり違いを認めて人を賞賛する力が日本よりも長けているなど実感しました。私も見習っていこうと思いました。

そして特に思い出に残っていることはナカル最後の夜に日本の料理を振舞ったことです。私たち日本人だけで作るのかと思っていましたがホストファミリーやナカルの教会に関わる生徒が手伝ってくれてすごく助かりましたし日本の文化にも触れてもらえて嬉しかったです。

私はこの1週間の中でフィリピンの方々からたくさんの思いやりと愛を貰い、日本では出来ない経験ができ、人として成長できた期間だったなと思いました。この体験で得たことを日本でこれから生活する上でも活かしていきたいです。

ここでの出会いは本当に私の人生の宝物となりました。また皆さんと一緒にフィリピンに行けることを願っています。

本当にありがとうございました。



11 心の中にはずっと ファミリーがいます！

米子教会
今島 菜々香

私は、今回2回目のインファンタ訪問になります。まずはホストファミリーについて…今回泊まらせて頂いたお家は前回も泊まらせて頂いたお家でした。前回、素敵なお家でまた泊まれるという事で行く前からとてもワクワクしていましたが、家の感じが変わり、引っ越されていました。今のお家もとても素敵なお家で、家族も温かく迎えてくれました。前は居ませんでした。可愛い猫ちゃんのお友達が出来ました。私の家では飼っていないので、飼っておられる家で動物と触れ合えた事が、私にとってはとても貴重な時間でした。

そして家族…美人姉妹ですとても！優しく綺麗で私にはもったいない…

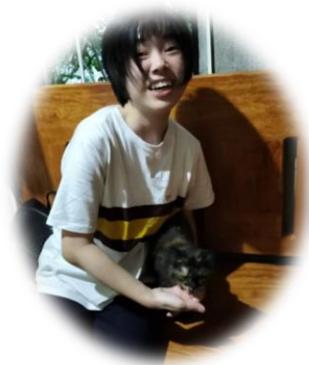
ホストマザー…もう、私のリアルマザーです！ホストファザーにも会いたかったのですが、5年前に亡くなられてました。その事を私は知っていたので、できたらお墓に連れて行って欲しいと頼みました。するとすぐに連れて行って貰えました。そうです！ホストファザーにも会えたのです！

ホストファミリー、ファザーにも会えて嬉しかったです。形では会えないけれど私の心の中にはずっとファミリーが居ます

一緒に訪問したグループの皆さん…

今回、高校生の方が多くて賑やかで楽しかったです！みんな礼儀が良いし、落ち着いて行動されるので、私は10歳くらい年上ですが見習う所が沢山ありました。それと同時に今、昔の自分に反省点も多々見えました。

日中の活動で睡眠時間が毎日4時間程で度々睡魔に襲われていましたが、その分貴重な経験ができました事に感謝します。書けない事も沢山ありますが感謝の気持ちとしてこれから、教会、私の周りの方々に何らかの形で伝えていけたらいいと思っています。



米子教会
今島 友香



私は今回 2 回目のインファンタ訪問でした。前回と同じホストファミリーの家に泊まらせて頂きました。ホストファミリーのアシュリーに連絡したら遠いルセナからわざわざ私のために帰って来てくれたので凄く嬉しかったです。

私が今回の訪問で感じた事は、現地の皆さんと目が合うと必ず笑顔で返してくれるということです。

インファンタの人は裕福であれ、貧困であっても助け合いながら暮らしているので、困っていてもいつも側で誰かが助けてくれるという環境です。裕福な人が貧困層を助けるという事が世間的には多いかもしれませんが、インファンタでは格差をつけずに皆で助けて合って生きています。それが、本当の幸せだと思いました。

それから、今回の訪問では偶然に 12 人の赤ちゃんが洗礼を受ける場面を見ることが出来ました。日本では大人数の赤ちゃんが洗礼を一斉に受ける場面は中々見られないので、フィリピンは若い国ということも実感しています。

今回のメンバーは多かったのですが、皆さん優しく、世代関係なく仲良くなったので、この出会いにも感謝します。

今回もインファンタ訪問で学んだ事が沢山あったのでそれを糧にこれからの生活も意識しながら頑張っていこうと思います。

生まれて初めての 冒険をしました！

尾道教会
貝塚 セリア千代子

A minha experiência em Filipinas. No primeiro dia eu me senti assustada e espantada. Mas foi muito bom conviver ,uma semana com a Família Pujera (Francis ,Chery ,Ellejn e Caitlin) .

Eu me senti muito bem recebida nas escolas „foi muito agradável participar junto com as alunas nas apresentações . E adorei de andar de canoa,coisas que tinha muito medo ,e acabei me aventurando mais do que pensava.

Deus abençoe a todos de Filipinas. Se possível irei abraçar este povos novamente. Eu estou muito feliz !!! Muito obrigada ,Deus abençoe.

フィリピンでの体験。初日は緊張と驚きでした。でも、プジェラー家（フランシス、シェリー、エレイン、ケイトリン）と一週間を過ごせたのはとても楽しかったです。

学校ではとても歓迎されていると感じましたし、生徒たちと一緒にダンスをしたりプレゼンテーションに参加できてとても楽しかったです。

そして、私はとても怖かったけれどカヌーがとても気に入りました。水がとても近くて、すべるように進んでいくのがワクワクしました。生まれて初めての、思った以上の冒険をしました。

フィリピンの皆さんに神のご加護がありますように。



希望の扉をたたく ～和解と平和を求めて～ 三姉妹教区の祈りより

岡山教会
大村 香苗

インファンタ教区訪問に初めて参加させていただきました。

あちらでは、とても温かいおもてなしをしていただきました。私のホストファミリーは、ご主人が船員で、たまたま私の滞在中は、休暇でご自宅にいらっしゃいました。奥様はキャリアウーマン。10歳になるかわいいお兄ちゃんとその弟の4人家族でした。休暇中のご主人が一家のシェフでした。



ホストファミリーと

初日の夕食は、フィリピンの家庭料理。けれど、私は疲れから、あまり食べることができませんでした。その様子をご夫婦は見ているようでした。次の日は、なんと、あっさりした優しい味のトンカツが出てきました！とてもおいしかったです！！YouTubeを観ながら、ご主人が作ってくださったそうです。その次の日はお寿司とお魚の煮つけ。日本人の口に合うように、味付けを変えてくださり、疲れた胃にはそのあたたかいお心遣いが沁みました。

けれど、翌日から私はまる2日間寝こみ、スケジュールをこなすことができませんでした。ご主人がフィリピンのお粥を作ってくださいましたが、食べることができませんでした。そこで、ゼリーやポカリスエットなどを買ってくださり、ようやくインファンタからマニラへ移動する日に動くことができました。

現地では、太平洋戦争時について時々話ができました。日本人が広島原爆を決して忘れることがないようにフィリピンの方々も過去の記憶をしっかりと持ち続けてもらっています。その上で私たちを受け入れてくださっている、このことは心に刻まなければならないと思いました。私たちが「ここに派遣された」意味を知る大切な旅となりました。

また、今回、インファンタ教区の歴史についてのレクチャーもあり、とてもいい勉強になりました。「教会は貧しい人々のものでなければならない」、これがインファンタ教区の礎となっているのを知り、本来の教会の意味を再確認したようで心が震えました。

インファンタの海岸で椰子の実を見つけました。「椰子の実」の歌を口ずさみながら、岡山教会の90代の信者さんが言ったことを思い出しました。「フィリピンに行きたい。あの海で父が亡くなっているんだ」と。この青い空の下、深い海には多くの戦争の犠牲者が眠っている、思わず手を合わせ、祈ってきました。



15 手を取りあい、ハグして 平和だからつながれる！

コロナパンデミックのために2020年～2023年の期間はインファンタ訪問ができませんでした。5年ぶりに訪れる町は変わらずのどかでゆったりとしていて、人々はとても明るく友好的で空白の時間を埋めるのに多くの時間は必要ありませんでした。

今回参加の高校生は、小学5年生の春休みから、あるいは小学6年の卒業式からコロナパンデミックが始まり、中学3年間はマスクと自粛で多くの体験ができませんでした。この訪問は多分に新鮮な体験だったのではないのでしょうか。忘れられない友情が生まれたでしょう。きっとまた一緒に行きましょうね！3人の青年は高校生のとき訪問し、インファンタの人々にまた会いたいと思って参加しました。日本のようにインフラが整っているわけではない、コンビニがすぐ近くにあるような都会でないことをとてもよく知っているにもかかわらず、そこに住む人たちの温かさに懐かしさを感じたからでしょう。SNSでつながっていても、実際に手に触れ温かさを感じ、ハグし、同じ食事を食べる。同じものを見て喜び、笑い合う。このような人とのつながりを実感することは、長い道のりを旅して直接出会うことで初めて得られるものです。

2日目に訪れた共同体（村）の教会では12人の赤ちゃんの洗礼式がありました。一度に12人の赤ちゃんも驚きますが、一人の赤ちゃんを支える代父母が3～5人、もしかしたらもっとたくさんの代父母だったかもしれません。生活の基礎にカトリック信仰があり子どもをみんなで守るということを肌で感じました。

ホストファミリーと別れマニラへ出発する朝、涙のようににわか雨がざっと降りました。空には虹がかかり「虹は人々への神の契約」とジェネラル・ナカルでは信じられていると教えていただきました。とても良いメンバーで、良い旅でした。

海を隔てた遠い国に神様に結ばれた家族がいる。
平和だから私たちはつながれる！

米子教会 西林 いずみ



マウントカルメル修道院にて



ACT 修道会 シスター・ハーシーと



幼児洗礼…シャンプーのように聖水！
ジャブジャブ！



虹！ 神様の契約の吉兆☆



St.Mark 司教座聖堂内



ホストファミリー宅に集まった
子どもたちと



潮が引くと沖に浅瀬が…



ジェネラル・ナカル観光センター前

今回の訪問の時にインファンタ教区の歴史の中で、姉妹縁組についての説明がなかったので、少し調べてみました。

大聖年準備資料（交流小史）より

尾道教会ではナカル教会との間で、1980年から1994年にかけて、10回の訪問と3回の招待を行い、交流を深め、その間1981年には姉妹縁組を締結した。尾道・ナカル教会間で育まれた友情が、各々の教区間の姉妹縁組の話に発展し、1997年から1999年の縁組への準備訪問を経て、2000年8月6日韓国釜山教区を含めた姉妹縁組に結実した。

私が初めてインファンタを訪問したのは、1983年、神学校での一年が終わった春休みでした。横浜教区の神学生と一緒に約一か月滞在しました。

その後、2004年の始めに、荻神父さんに誘われて、インファンタの新しい司教様に挨拶に行き、8月の訪問についても話ししました。2004年の8月に4人の高校生と荻神父と私の6人で訪問しました。その年の暮れに、台風による大洪水があり、2005年の始めに荻神父さんと共に見に行きました。大変な被害でしたが、その年の8月の訪問もできるということで、少しだけ復旧の手伝いをもすることができました。それから毎年訪問して2019年まで続けました。コロナ過で2020年から2023年まで休止していましたが、今年再開しました。私は2004年からほとんど毎回同じ家にホームステイしていました。

今回、20年前2歳だった男の子が、教会や学校に送ってくれました。「20年前から神父さんはずちの家族の一員ですよ」言われて感激してしまいました。今年は高校生6人と青年3人、青年は3人も二回目でした。荻神父、今フィリピンで英語の勉強をしている三宅神父さんと3人のリーダと私の15人でした。それぞれにホームステイの家族に大切にされ、喜んで帰ったようです。短い期間でしたが、それぞれの人生の益になるように祈ります。

あなた方は わたしたちの一員です！

インファンタ教区 司祭
ニルボン・ヴィラニューエヴァ

Dear Friends in Hiroshima,
Peace!

It's with great pleasure to receive you every time you visited us in the prelatore. We welcome you as our brothers and sisters in the partnerships.

Anything for the growth of the partnerships we are very willing give and share even we are not financially capable.

Your presence is always a joy for us and the community. Most people were involved in the preparations and activities.

They had opened not only their houses for you but their hearts and families as well. It is a meeting of two different cultures but one in spirit of sharing and love.

I'm happy to hear from you that everyone had a meaningful stay with us.

Once again... thank you Hiroshima! You will be always part of the prelatore!

Nilvon

広島の親愛なる友人の皆様、
平和を！

あなた方がわたしたちの司教区を訪問するたびに、私たちはあなた方を非常に喜んで迎え入れます。私たちは、パートナーシップの兄弟姉妹としてあなた方を歓迎します。

パートナーシップの成長のためなら、私たちは喜んで何でも与え、分かち合います。たとえ経済的に余裕がなくても。

あなた方の存在は、私たちとコミュニティにとって常に喜びです。ほとんどの人が準備と活動に関わっていました。

彼らはあなた方のために家だけでなく、心と家族も開いてくれていました。これは、2つの異なる文化が出会う場ですが、分かち合いと愛の精神で1つです。

皆さんが私たちと一緒に有意義な滞在をされたと聞いてうれしく思います。

もう一度... 広島に感謝します！あなたがたは常にわたしたちの司教区の一員です！

ニルボン



Infanta-Hiroshima Partnership Visit 2024

Time	17 August (Sat)	18 August (Sun) Day 1	19 August (Mon) Day 2	20 August (Tue) Day 3	21 August (Wed) Day 4	22 August (Thu) Day 5	23 August (Fri) Day 6
6:00 am		集合：聖アンナとヨアキム教会	集合：聖アンナとヨアキム教会	集合：ACT 修道会	集合：聖アンナとヨアキム教会	集合：SAJP	
6:30am		セント・マーク教会へ移動	セント・マーク教会へ移動		セント・マーク教会へ移動		マニラ
7am		司教表敬訪問 & コルテス司教様と朝食 (司教館)	朝食 (SAJP)	朝食 (ACT)	朝食 (SMC)	朝食 (SAJP)	朝食 (Scalabrian)
8am		歓迎ミサ (SMC)					
9am		教区オリエンテーション (SAC)	訪問：教区内共同体/退職司祭の家	マウントカルメル・インファント校訪問	マングローブツアー (ボートで自然を満喫)	マニラへ移動 (道中で昼食)	マニラ国際空港へ出発準備
10am	Flight PR 407 関空発 Japan	昼食：SMCの皆さんと	昼食：SAJPの皆さんと	昼食：MCSIの皆さんと			
11am	10:05 am						
12nn							
1pm	マニラ着 Manila 01:10pm (車で迎え)	祈りの庭訪問	海水浴：sulok beach	マウントカルメル・ジェネラル・ナカル校訪問	カルメル修道会訪問/ ジェネラル・ナカル 観光センター	市内観光/マニラ大聖堂、聖オガスチン教会、イントラムロスなど	Flight PR 408 マニラ発 02:05pm
2pm	インファント商業センター (市場) 訪問						
3pm		ミサ：SAJP	ミサ：SAJP	交流会：MCHSGN			
4pm		インファント商業センター (市場) 訪問	軽食：MCHSGNの皆さんと	軽食：MCHSGNの皆さんと	料理 (by 日本人の皆さん) (Hosutofaniri no tame ni rjōri o Isukuru) at SAJP		
5pm		ミサ：SAJP	ミサ：SAJP	ミサ：SAJP			
6pm	到着：ジェネラル・ナカル	集合：SAJP ホストファミリー宅へ	集合：SAJP ホストファミリー宅へ	集合：SAJP ホストファミリー宅へ	分かち合い/夕食準備	スカラブリニ・センター	
7pm		分かち合い/夕食準備 /ホストファミリーと夕食	分かち合い/夕食	分かち合い/夕食	分かち合い/夕食準備		
8pm		ホストファミリー 泊	ホストファミリー 泊		すべてのホストファミリーと一緒に夕食：SAJP		

Note: 同行者：マデル・アメリカ&アベス・アグラナオ

*SAJP=聖アンナとヨアキム教会

*SMC=セント・マーク司教座聖堂

*MCSI=マウントカルメル・インファント校

*MCHSGN=マウントカルメル・ジェネラル・ナカル校

*SAC=ソーシャル・アクションセンター

*SAC=ソーシャル・アクションセンター



マニラ大聖堂にて

野中 泉 神父	荻 喜代治 神父	大村 香苗	仲里 きらり	貝塚 セリア千代子	小田 詩織	西林 いずみ	今島 友香	今島 菜々香	和田 一吹	浅井 咲智	清水 とう子	原 心	石井 咲也子	三宅 仁孝 神父
---------	----------	-------	--------	-----------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	-----	--------	----------

【2024年訪問団 メンバー】

尾道教会では、ナカル教会との間で1980年から94年にかけて10回の訪問と3回の招待を行い交流を深め、その間1981年には姉妹縁組を締結した。

尾道・ナカルの教会間の交流で育まれた友情が、各々の教区間の姉妹縁組の話に発展し、97年・99年の縁組への準備訪問を経て、2000年8月6日韓国釜山教区を含めた姉妹縁組に結実した。 大聖年準備資料（交流小史より）

〈岡山教会報「いぶき」第292号2004年7月1日より転載〉

カトリック 広島司教区 公式ホームページ

<https://hiroshima.catholic.jp>